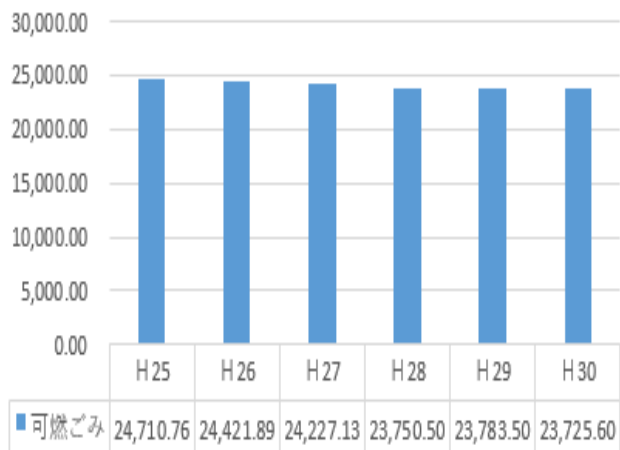


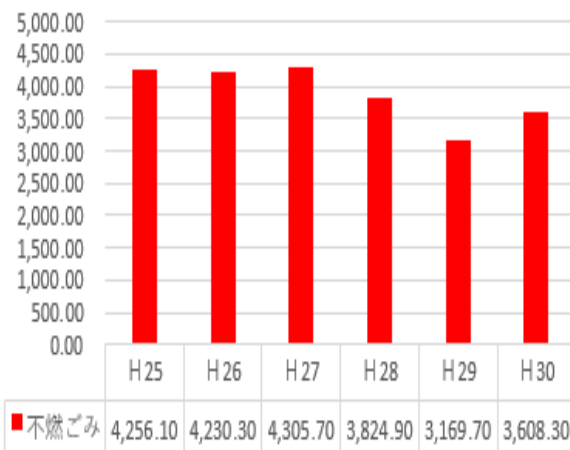
今年度の取り組みと 来年度以降の取り組みについて

ごみの収集量の推移

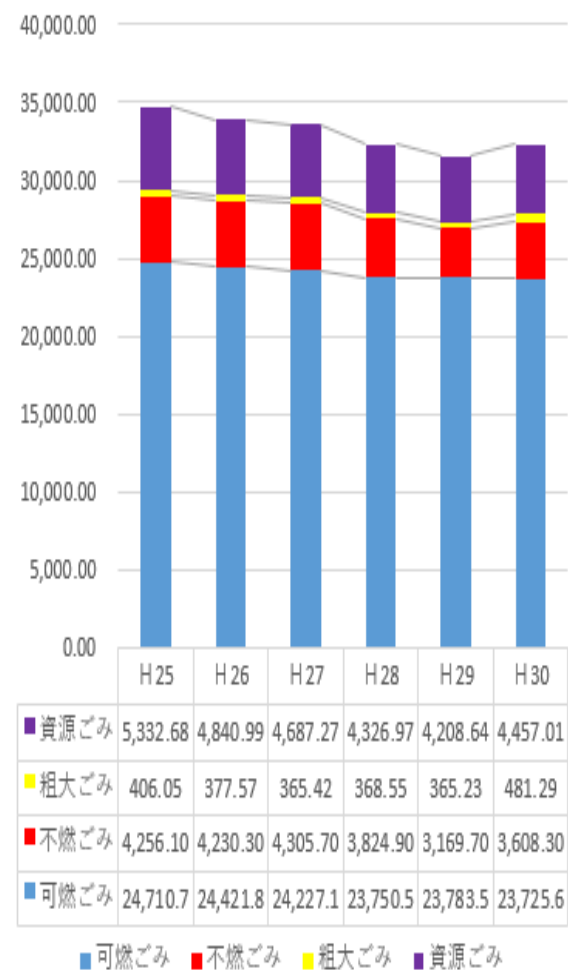
年度別収集量（可燃ごみ）



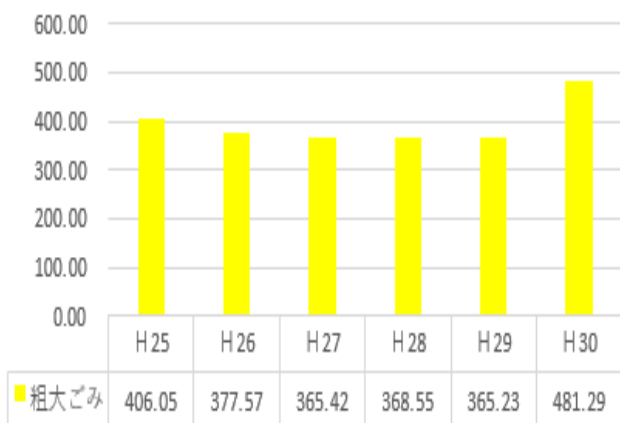
年度別収集量（不燃ごみ）



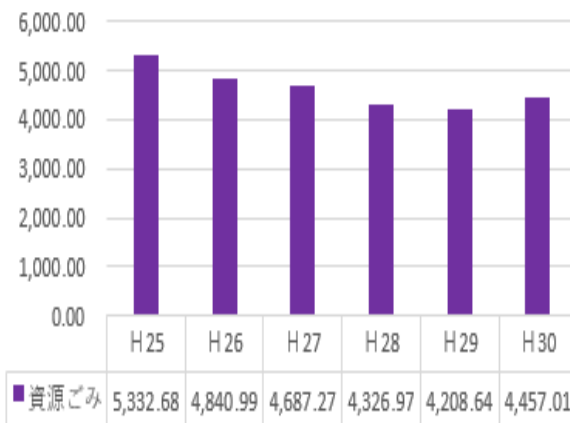
年度別収集量（合計）



年度別収集量（粗大ごみ）



年度別収集量（資源ごみ）



カンカンBOOK・福服BOOK事業（資源ごみ回収・子育て支援連携事業）

「カンカンBOOK」…市内事業所から飲用のアルミ缶・スチール缶を寄附していただき、その売却益で児童館や児童研修館の絵本などを購入する事業です。

「福服BOOK」……市民より着なくなった洋服等を寄附していただき、その売却益で児童館や児童研修館の絵本などを購入する事業です。

◆カンカンBOOK事業

項目	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
協力事業所数	6	12	15	16	19
売却量	1,167kg	2,140kg	2,800kg	3,660kg	1,760kg※1
売却益	72,045円	151,238円	245,428円	335,690円	144,466円※1
絵本購入数	47	84	229	312	未定
贈呈施設数	7	8	21	20	未定

◆福服BOOK事業

項目	H29年度	H30年度	R元年度
回収場所	燕庁舎駐車場	市役所駐車場	市役所駐車場
回収日	4月～11月の毎週日曜日	年末年始を除く毎日	年末年始を除く毎日
回収時間	9:00～15:00	9:00～17:00	9:00～17:00
拠点回収	5回	6回(1回は雨で中止)	4回予定
回収量	45,280kg	67,540kg	69,575kg※1
売却益	45,280円	67,540円	69,575円※1

●福服BOOKのぼり旗



●贈呈図書ラベル



※1 R元年度は9月末までの実績

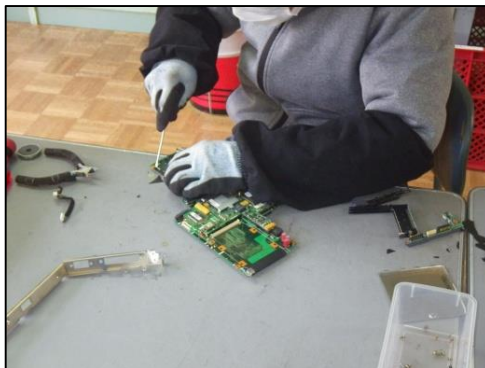
小型家電リサイクル事業

小型家電製品に含まれる有用金属の再資源化と不燃ごみの減量化を行います。
また、回収や分解等の業務を障がい者就労支援施設へ委託し、就労支援を行っています。

◆年度別実績

	売却量	売却益
H26 ※1	2, 170 kg	60, 630 円
H27	3, 218 kg	69, 922 円
H28	5, 203 kg	200, 827 円
H29	7, 408 kg	290, 919 円
H30	3, 777 kg	319, 390 円
R元※2	1, 787 kg	171, 644 円

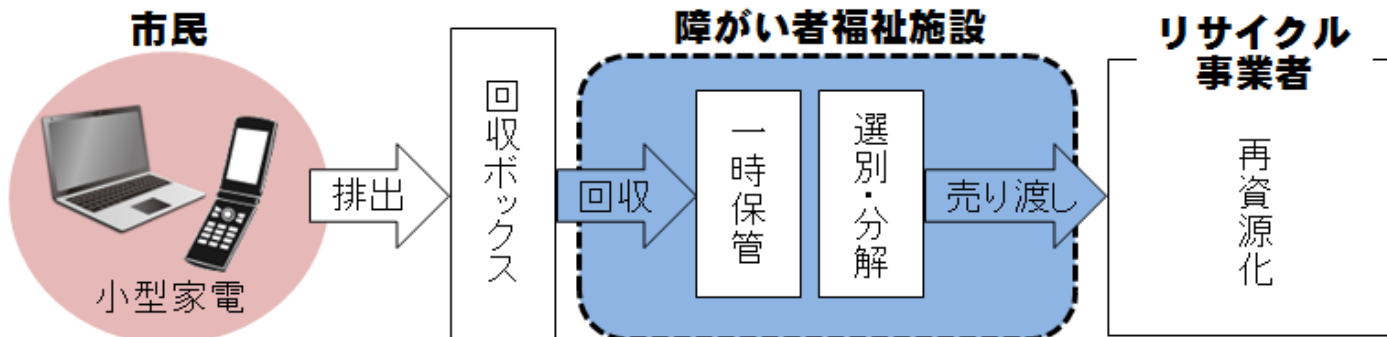
◆作業風景



※1 H26年度は実証実験とし6月より開始。

※2 R元年度は9月末までの実績

◆収集～再資源化までのイメージ



食品ロス削減

食品ロスとは、まだ食べられるのに廃棄される食品のことです。

農林水産省及び環境省の平成28年度推計では、日本は年間2,759万トンの食品廃棄物等のうち、食品ロスは643万トンとなっています。

これは、国民一人当たり換算するとお茶碗約1杯分(約139g)の食べ物が毎日捨てられていることとなります。

◆第1回庁内調整会議の開催 (令和元年度6月25日(火))



①食品ロス削減推進法の制定について

②各課※における取り組みについて意見交換

※生活環境課、子育て支援課、健康づくり課、学校教育課、社会教育課、
商工振興課、農業委員会事務局、地域振興課

◆今年度のこれまでの取り組み

- 啓発物品(箸:寄贈品)とチラシの配布
- 食品ロスの削減PRパネルの設置
- 食品ロス削減の講話

◆今年度の今後の取り組み

- 料理コンクールのテーマを食品ロス削減にして実施予定
- 食育だより、給食だよりで食品ロスに関する記事を掲載予定
- 広報つばめ特集記事(マンガ「食品ロスの削減」)を掲載予定

◆食品ロス削減推進法(令和元年5月24日法案可決 5月31日公布 10月1日施行)

(市町村食品ロス削減推進計画)

第十三条 市町村は、基本方針(都道府県食品ロス削減推進計画が定められているときは、基本方針及び都道府県食品ロス削減推進計画)を踏まえ、当該市町村の区域内における食品ロスの削減の推進に関する計画(次項において「市町村食品ロス削減推進計画」という。)を定めるよう努めなければならない。

政府では、令和元年度中に「基本方針」策定(閣議決定)予定

トリクロロエチレンの排出抑制にむけて ①

◆「トリクロロエチレン排出抑制検討会」について

※事務 局：○新潟県県民生活・環境部環境対策課

オブザーバー：○燕市市民生活部生活環境課 ○燕市産業振興部商工振興課 ○燕市商工会議所
○日本金属ハウスウェア工業組合 ○日本洋食器工業組合
○三条市市民部環境課

【経緯】

トリクロロエチレンの排出量が多く、河川水の基準超過や大気中濃度が高い地域が存在するなど、事業者による排出抑制対策が必要な状況

【現状】

- ・燕市ほか複数地域でトリクロロエチレンのモニタリング調査を実施しているが、大気中の濃度は全国ワーストレベル
- ・全国のトリクロロエチレン使用量のうち約10%を燕市内の事業所が占めている。一方で、使用事業所では適切な取扱いや危険性についての知識が不足している。

【地域別発生源周辺の調査結果】

地域	地点数	平均値	最小値	—	最大値
燕市(H26)	35	38	0.8	—	170
燕市(H28)	17	67	9.6	—	220
三条市	9	24	3.5	—	83
岡谷市	28	9.7	1.5	—	83
諏訪市	16	15	2.0	—	55
東京都	11	2.9	0.97	—	7.4
大阪府	16	5.0	0.33	—	20

環境基準の改定について

平成30年11月19日に「ベンゼン等による大気の汚染に係る環境基準について」(平成9年2月環境庁告示4号)

の一部を改正し、トリクロロエチレンによる大気の汚染に係る環境基準を改定。

改定内容

「1年平均値が0.2mg/m³以下であること」
⇒「1年平均値が0.13mg/m³以下であること」

トリクロロエチレンの排出抑制にむけて ②

【検討会開催スケジュール（予定）】

第1回検討会 H30. 7.18開催

- ・検討会の設置、検討の進め方
- ・現状と課題の共有

第2回検討会 H30. 9. 10開催

- ・現地視察

第3回検討会 H30. 11. 19開催

- ・規制強化又は自主的取組の促進
- ・代替物質や研磨剤固化剤成分変更の検討
- ・事業者に対する支援手段の検討
- ・業界団体及び事業者へのヒアリング

第4回検討会 H31. 3. 4開催

- ・他自治体の規制例、自主的取組の促進についての検討

第5回検討会 R元. 7. 2

- ・トリクロロエチレンの排出抑制に向けた自主的取組ガイドライン(案)について

第6回検討会 R元. 11頃

第7回検討会 R2. 1頃

【取組】

・環境基準を長期に達成し、水質や大気等の環境を将来にわたり良好に維持していくため、県では平成30年度から3年間の事業として、排出抑制策を推進し環境負荷の低減を図る「トリクロロエチレン排出抑制推進事業」に取り組む

大気物質モニタリング調査

- ・既存の6ヶ所の測定局(うち燕市内1ヶ所)のほか、平成31年4月より6ヶ所(うち燕市内5ヶ所)を追加対策推進のため地域全体での意識向上の取組(平成30～令和2年度)
- ・使用事業者向けセミナーの開催
- ・立入検査等の指導や情報提供に活用するパンフレットの作成、
- ・排出抑制に向けた自主的取り組みの状況を把握し、地域の実情を踏まえたガイドラインを策定するための聞き取り調査

2019 ふれあいフォーラム

地球温暖化防止推進センターと地球温暖化防止活動推進員から協力をしていただき、来場者に「エコドライブシミュレーター」を使用した地球温暖化防止の啓発活動を実施しました。

また、生活環境課のブースでは食品ロスのパネル展示や発電体験などを行いました。

- ◆ 開催日 令和元年6月8日(土)
- ◆ 会場 吉田産業会館
- ◆ 主催 ふれあいフォーラム実行委員会
- ◆ 後援 燕市
燕市教育委員会
燕市社会福祉協議会 等

- ◆ 参加団体
 - ・高仰の会
 - ・NPO法人NPOさんじょう
 - ・東北電気保安協会
 - ・越後工業(株)
 - ・新潟県警
 - ・燕市社会福祉協議会
 - ・燕市生活環境課

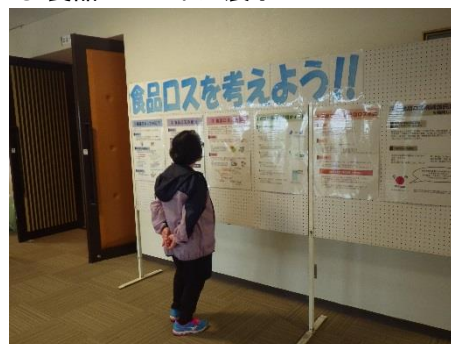
● エコドライブシミュレーター



● 手づくりうちわ体験



● 食品ロスパネル展示



● 発電体験



第9回クリーンアップ選手権大会 ①

「I♥Tsubame・Clean up in 燕」(日本一きれいで輝く街を目指して!)の活動事業の一つとして、ごみ拾いに競技性を持たせ楽しく参加していただきながら、地域の環境やごみ問題に対する意識を高めること。また、まち歩きを通じて、風景などを楽しみながら地域の良さを新発見、再発見することを目的として開催しました。

- ◆ 開催日 令和元年6月22日(土)
- ◆ 会場 燕市分水公民館駐車場
- ◆ 主催 燕市
- ◆ 後援 燕ライオンズクラブ
燕ロータリークラブ
- ◆ 協賛 サーモス株式会社
新潟中央ヤクルト販売株式会社

◆ 参加チーム状況

自主的参加	依頼による参加
9チーム	37チーム

◆ 参加者年齢割合

18歳以下	19歳以上
16人(9.2%)	158人(90.8%)

- ◆ 参加チーム数 46チーム/174名

● 競技中の様子



第9回クリーンアップ選手権大会 ②

◆参加者数推移

	参加人数	参加チーム数	ごみ回収量
第1回 スポーツランド燕	144名	36チーム	658kg (草むしり含む)
第2回 分水さくら公園	89名	23チーム	45kg
第3回 イオン県央店周辺	98名	27チーム	60kg
第4回 燕市交通公園周辺	152名	43チーム	156kg
第5回 ビジョン吉田周辺	96名	24チーム	113kg
第6回 道の駅国上周辺	181名	49チーム	238kg
第7回 吉田小学校周辺	95名	25チーム	162kg
第8回 燕市役所燕庁舎周辺	186名	51チーム	247kg
第9回 分水公民館周辺	174名	47チーム	195kg

● みんなで記念撮影



◆アンケート集計結果 回答数：134名

Q. 今回のイベントに参加した感想をお聞かせ下さい

	回答者数
楽しかった	108人(80.6%)
普通	26人(19.4%)
つまらない	0人(0.0%)

● 楽しかった理由【抜粋】

- ・子供と一緒にごみ拾いができ、燕市も綺麗になった。
- ・観光もできて良かった。
- ・良い運動になった。

● 普通の理由【抜粋】

- ・ごみが意外と少なかった。
- ・まじめにごみ拾いをしたので楽しいと思うことはなかった。

● その他の意見【抜粋】

- ・雨が降って大変だった。
- ・タバコ・缶・ペットボトルのごみが多くてビックリした。

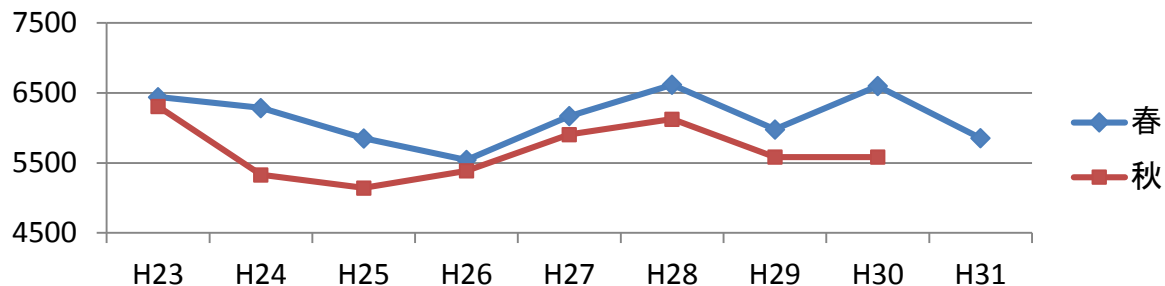
クリーンデー燕

毎年、春と秋の年2回、自治会と事業所等の皆様よりご協力をいただき「クリーンデー燕」と称して市内一斉清掃を行っています。

◆直近の参加状況

	開催日	参加者数	参加自治体数	参加団体数
H30年度春のクリーンデー燕	4/14	6,598人	139	13
H30年度秋のクリーンデー燕	10/6	5,583人	127	15
H31年度春のクリーンデー燕	4/13	5,854人	131	11

◆年度別参加状況



クリーン作戦(職員ボランティア活動)

平成25年度の庁舎移転に伴い、毎年1回業務終了後にボランティア職員で庁舎周辺のごみ拾いを行っています。

つばめエコキッズ探検隊 ～ 地球温暖化防止作戦 !! ～ ①

子どもたちが楽しくエコについて学び、環境についての探検を通じて環境保全の意識の醸成を図り、そこから家庭や地域での環境活動への広がりを図るプロジェクトです。

- ◆ 開催日 令和元年8月24日(土)
- ◆ 会場 燕市下水終末処理場
- ◆ 主催 燕市
- ◆ 協力 新潟県地球温暖化防止活動推進センター

- ◆ 参加者数 10名
- ◆ 男女別参加者数 男:4名 女:6名
- ◆ 学年別参加状況



2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
女1	女1	男2、女1	男1、女3	男1

● 隊員証(ピンバッジ)授与



● 講師紹介



● 下水道についての講話



つばめエコキッズ探検隊 ～ 地球温暖化防止作戦!! ～ ②

◆アンケート集計結果 回答数:10名

Q.今回のイベントに参加した感想をお聞かせ下さい

	回答者数
楽しかった	10人(100.0%)
普通	0人(0.0%)
つまらない	0人(0.0%)

●楽しかった理由【抜粋】

- ・地球温暖化について楽しく学べた。
- ・普段見ることの出来ない所が見れた。
- ・発電体験が楽しかった。

● 下水終末処理場探検



Q.各体験学習の感想をお聞かせください。

	楽しかった	普通	つまらない	未回答
地球温暖化の講話	7人	1人	0人	2人
下水終末処理場探検	9人	0人	0人	1人
環境かるた大会	7人	1人	0人	2人
発電体験	8人	0人	0人	2人

● 地球温暖化の講話



● 環境かるた大会



● 発電体験



● 省エネ行動宣言



水と森のきょうしつ

新潟県大潟水と森公園の自然環境に触れ、こどもたち自身が身近な自然に対する関心を深めました。

- ◆ 開催日 令和元年7月27日(土)
- ◆ 場 所 新潟県立大潟水と森公園
(新潟県上越市大潟区潟町1381)
- ◆ 対 象 三条市と燕市と出雲崎町内在住の
小学4年生とその保護者
- ◆ 主 催 公益財団法人新潟県環境保全事業団
新潟県地球温暖化防止活動推進センター
- ◆ 共 催 新潟県・新潟市・三条市・燕市・出雲崎町
- ◆ 後 援 新潟市教育委員会・三条市教育委員会
燕市教育委員会・出雲崎町教育委員会
- ◆ 協 力 公益財団法人新潟県都市緑化センター

◆ 参加者数 12組 24名

燕市		三条市		出雲崎町	
6組	12名	1組	2名	5組	10名

◆ 当日のタイムスケジュール

時 間	内 容
7:45	集合(燕三条駅燕口側)
8:00	出発
9:05	新潟県大潟水と森公園到着
9:15 ~	ザリガニ釣り
12:00 ~	昼食
13:00 ~	エコ工作づくり
15:30 ~	新潟県大潟水と森公園出発
16:30	解散(燕三条駅燕口側)

● 開始のあいさつ



● ザリガニ釣り



● 環境のお話し



● エコ工作



燕市内における公害防止活動 ①

毎月1回、燕地区の南町排水路の2地点(南公民館脇、少年野球場脇)で水質の測定を行いました。
また、騒音常時監視として、環境騒音・自動車騒音測定を3地点と高速道路騒音測定を6地点で行いました。

◆公害苦情受理及び処理状況

	大 気	水 質	騒 音	振 動	悪 臭	その他	合 計
受理件数	0 件	0 件	4 件	1 件	3 件	0 件	8 件
処理件数	0 件	0 件	4 件	1 件	3 件	0 件	8 件

●苦情内容

- ・近隣工場からのプレス機騒音(3件) ・住宅解体現場からの機械騒音(1件)
- ・近隣工場からのプレス機振動(1件) ・近隣工場からの悪臭(3件)

◆水質検査状況

検査項目	基準値(ppm)	測定結果
ジクロロメタン	0.02	環境基準 オーバーなし
1,1-ジクロロエチレン	0.10	環境基準 オーバーなし
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04	環境基準 オーバーなし
1,1,1-トリクロロエタン	1.00	環境基準 オーバーなし
トリクロロエチレン	0.01	環境基準 オーバーなし
テトラクロロエチレン	0.01	環境基準 オーバーなし

燕市内における公害防止活動 ②

◆騒音調査状況

①環境騒音、自動車騒音測定(3地点)

調査地点	調査月日
吉田大保町地内	11/1 ~ 11/2
分水新町地内	1/10 ~ 1/11
小関地内	1/9 ~ 1/10

②高速道路騒音測定(6地点)

調査地点	調査月日	調査地点	調査月日
井土巻地内	9/27 ~ 9/28	八王寺地内	8/20 ~ 8/21
又新地内	9/11 ~ 9/12	三王湊地内	9/19 ~ 9/20
八王寺地内	7/12 ~ 7/13	関崎地内	8/23 ~ 8/24

③測定方法ならびに測定結果

測定回数	年1回、24時間測定	
測定場所	環境騒音3地点、高速騒音6地点	
環境基準	昼	70デシベル(6時~22時)
	夜	65デシベル(22時~6時)
測定結果	全地点において環境基準を超えなかった	



◆騒音・振動調査状況

特定事業場立入実態調査 (燕市公害防止事業協同組合と連携して実施)

調査機関	対象工場	騒音調査数	振動調査数
10月 ~ 12月	26社	19社	19社

合併処理浄化槽転換促進補助事業

人口減少や高齢化などの社会情勢や厳しい財政事情等により、汚水処理施設の整備を取り巻く情勢が大きく変化したことを受け、燕市においても、集合処理区域として下水道整備を実施する区域及び個別処理区域として合併処理浄化槽で整備する区域を明確に分類するとともに、早期の汚水処理施設の概成を目指す「燕市汚水処理施設整備構想」を策定しました。

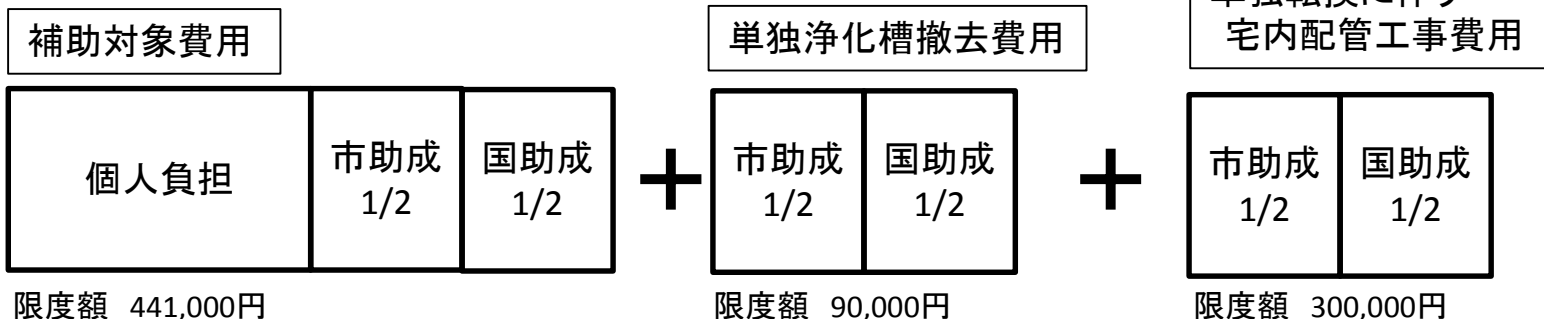
これを受けて、個別処理区域において、単独処理浄化槽や汲み取り式トイレから合併処理浄化槽に早期の転換を促すため、令和元年度から設置工事費等の一部を補助する制度の創設しました。

また、国から、令和元年度予算において、新たに宅内配管工事費も助成する方針が示されたことから、本市としても、国の制度改正に合わせて合併処理浄化槽への転換促進補助制度を創設しました。

◆補助対象者 個別処理区域において、住宅で使用している単独処理浄化槽またはし尿汲み取り便槽を合併処理浄化槽(環境配慮型浄化槽※)に設置換えする方。

※ 消費電力基準、環境性能等の環境省の定める要件を満たす浄化槽

◆補助金のイメージ(7人槽の場合)



◆令和元年度 燕市合併処理浄化槽転換促進補助事業実績

申請人数 26件(うち 単独入替:21件 汲み取り入替:5件)

災害廃棄物処理計画

平成23年3月11日の東日本大震災の経験を踏まえて、今後発生が予測される大規模地震や津波及び水害による被害を抑止・軽減するための災害予防、さらに発生した災害廃棄物や避難所のごみの処理を適正かつ迅速に行うため災害廃棄物処理計画の策定に取り組みます。

※現在、「関東地域ブロックにおける災害廃棄物処理計画モデル事業」にオブザーバーとして参加しています。

◆新潟県内策定状況

	計画名	策定
魚沼市	魚沼市災害廃棄物処理計画	2007年3月
糸魚川市	糸魚川市災害廃棄物処理計画	2011年7月
上越市	上越市・一般廃棄物処理基本計画 (第4部 災害廃棄物処理計画)	2015年3月
新潟市	新潟市災害廃棄物処理計画	2016年3月
南魚沼市	南魚沼市災害廃棄物処理計画	2016年12月
長岡市	長岡市災害廃棄物処理計画	2018年3月
五泉市	五泉市・一般廃棄物処理基本計画 (第5部 災害廃棄物処理計画)	2018年3月

【平成28年熊本地震の例】

片付けごみが道路までみ出しており、交通の障害になっています。



【仮置場の例】

(場所:福岡県朝倉市甘木仮置場:約3,000㎡)

